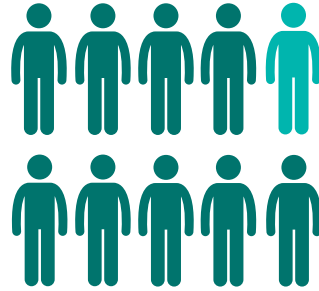


新型コロナウイルス 感染症の後遺症とは？



新型コロナウイルス感染症の後遺症とは新型コロナウイルスに感染中または感染後に発症し、12週間以上継続する徴候や症状と仮に定義されています。

一般的には4週間までは急性新型コロナウイルス感染症、4週間から12週間までは持続型の新型コロナウイルス感染症とされています。



新型コロナウイルス感染症の後遺症の発生頻度は？

10人に1人が12週間以上において症状を示します。



新型コロナウイルス感染症の後遺症を患っている人の多くは、病前は活動的で健康でした。



大人と同じように、子供もほぼ同じ頻度で新型コロナウイルス感染症の後遺症を経験します。

急性新型コロナウイルス感染症で入院した人も自宅療養した人も新型コロナウイルス感染症の後遺症が残ります。新型コロナウイルス感染症軽症、重症のいずれの患者も、症状が長引いたり後遺症が残ったりする可能性があります。

新型コロナウイルス感染症の後遺症は多岐にわたります。様々な組み合わせで発生する200以上の症状があり、これらの症状は一時的に落ち着いたたり、再発したり、予測可能な場合と予測不可能場合があります。

6ヶ月後の最も一般的な症状:



極度の疲労感（倦怠感）

労作後の症状悪化（PESE）



記憶力や集中力の低下（ブレイフォグ）

その他一般的な症状:



息切れ



胸の痛みや圧迫感



睡眠障害(不眠症)



動悸



めまい



筋肉痛



関節痛



ゆううつと不安



耳鳴り、耳痛



気持ち悪さ、下痢、胃の痛み、食欲不振



高熱、咳、頭痛、喉の痛み、嗅覚や味覚の変化



発疹

新型コロナウイルス感染症の後遺症の定義については国際的な合意をまだ得られていません。しかし、新型コロナウイルス感染症の後遺症が一般的で、衰弱しやすいことを示す根拠が増えています。複数のシステムへの関与と重大な障害の長期化というような新型コロナウイルス感染症の後遺症の特徴を明らかにする調査がされています。



World
Physiotherapy

www.world.physio/wptday